2013

ー赤レンガ１００周年ー

今後の展覧会

冬季企画展　京都を学ぶ「京の町衆・神田家とその蔵書」

2013年12月10日（火）ー2014年2月15日（土）（日・月曜、12/27ー1/4、2/11は休館）

本館は「京都・大学ミュージアム連携」に加盟しています。
最近イベントは下記の通りです。

第2回京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー開催中

期間：2013年9月20日（金）ー11月30日（土）

本館にスタンプラリー台紙、本館出題クイズがあります。

詳細は連携HPをご参照ください。
http://univ-museum-kyoto.com/stamp01.html

大学は宝箱　京都・大学ミュージアム連携出開帳in博多

会場：九州産業大学美術館

会期：2013年10月8日（火）ー10月26日（土）

本館出品作品：打敷（花熨斗羽団扇文様・源氏物語図・雲龍文様・鳳凰文様・雅楽器文様・蘭文様）

詳細は連携HPをご参照ください。
http://univ-museum-kyoto.com/exhibition02.html

●地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
●市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「北大路駅前」下車
●駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。
ただし、身障者用の車の場合は事前にご連絡ください。

大谷大学博物館

Otani University Museum

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

〒603-8143 京都市北区小山上総町　Tel.075-411-8483 Fax.075-411-8146
http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

Exhibition in Autumn 2013

赤レンガ100周年記念「赤レンガの学舎」

JINGENKAN CELEBRATES ITS 100TH ANNIVERSARY

2013 10/12 sat ー 11/28 thu

休館日＝日・月曜日（ただし10/13、11/24、25は開館）　開館時間＝午前10時〜午後5時（入館は閉館の30分前まで）
観覧料＝一般・大学生／200円　小中高生／無料　本学学生・同窓生・教職員／無料

尋源館、百年の星霜。

尋源館

開館10周年記念　2013年度秋季展

大谷大学博物館

大谷大学博物館 10 周年記念 2013 年度秋季展

赤レンガ100周年記念「赤レンガの学舎」

今年は大正２年（1913）京都小山の地に赤レンガの学舎が建築されてから、100 周年になります。
近代仏教研究の拠点として、また大谷大学の学びのシンボルとして親しまれてきた赤レンガの学舎を、大学の歴史とともに紹介します。

Ⅰ「真宗大学」から「真宗大谷大学」へ

1　印章
（「真宗大谷大学之印」・「真宗大谷大学図書館之印」）　2点
木製　印章
明治時代　　大谷大学図書館蔵
真宗大谷大学で使用された印章。

2　真宗大谷大学卒業写真　1枚
モノクロ写真
明治45年（1912）　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
東京巣鴨の真宗大学と京都の高倉大学寮は、合併され明治44年（1911）10月13日高倉魚棚の仮校舎にて開校された。本品は明治45年7月、仮校舎で撮影された真宗大谷大学初年度の卒業写真。

3　「知進守退碑」拓本　1幅
紙本墨拓　軸装
明治34年（1901）：原碑
東京巣鴨に「真宗大学」が開校された記念として建立された石碑の拓本。東本願寺第23代門首彰如（句仏）の筆による。この碑は大学の京都移転にともない移設され、今も本学正門入って右手に建つ。

4　落成・移転式案内葉書ならびに式次第　2点
紙本印刷・墨書　葉書・切紙
大正2年（1913）　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
大正２年11月、小山の地に赤レンガ造の本館、講堂、図書館、寄宿舎が完成した。本品は同月９日に新築・移転を記念して新校舎大講堂において行われた式の案内状と式次第。

5　真宗大谷大学一覧　1冊
紙本印刷　冊子
大正2年（1913）　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
大正２年11月９日に挙行された落成・移転式で「真宗大谷大学一覧」は絵葉書や折菓子、模擬店（うどん、カント煮等）の券とともに、お土産として出席者に配布された。

6　南條文雄墨跡　1冊
紙本墨書　額装
明治・大正時代
南條文雄（1849～1927）は明治36年（1903）2月28日、清沢満之の辞任にともない真宗大学第二代学監になる。その後、明治44年（1911）真宗大学の京都移転に反対して一度は学監を辞めるが、大正3年（1914）再び真宗大谷大学の学長となった。

Ⅱ 大谷大学の設立と樹立の精神

7　印章
（「大谷大学事務室」・「大谷文庫」・「大谷大学図書館」）　3点
木製
大正時代　　大谷大学図書館蔵
真宗大谷大学から大谷大学へと改称され、印章も新しいものに改められた。

8　真宗大谷大学最後の卒業写真　1枚
モノクロ写真
大正12年（1923）　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
大正11年（1922）年5月、大学令により「真宗」の二字を外して「大谷大学」が設立された。本品は、大正12年3月に撮影された「真宗大谷大学」最後の卒業写真。

9　「大谷大学樹立の精神」　1冊
紙本インク書　原稿用紙（袋綴）
大正14年（1925）
大正14年入学宣誓式における第3代学長佐々木月樵の告辞。本品は佐々木月樵の自筆草稿。この「樹立の精神」のなかで大谷大学の建学理念をあらわした。

10　『大谷大学新報』　1枚
紙本印刷　新聞
大正13年（1924）　　大谷大学図書館蔵
大正13年２月発行の大谷大学新報に載せられた「大谷大学学生募集」の広告。教授陣の名前や大学の沿革、大学全景と閲覧室の写真が載せられている。

11　佐々木月樵墨蹟　1幅
紙本墨書　軸装
大正時代
佐々木月樵（1875～1926）は大正13年（1924）1月18日学長に就任。この年の4月に学制を改定して文学部が設置され、同時に専門部が開設された。

Ⅲ 青写真にみる赤レンガ

12　棟札　1札
木製　棟札
大正13年（1924）
大正13年9月23日の銘がある。赤レンガの校舎建築ののち、増設された事務室のもの。

13　工事入札者心得ならびに仕様書　5冊
罫紙印刷　袋綴
明治45年（1912）
赤レンガの校舎の建築にあたり、大谷大学建築事務所が作成した入札者心得書と仕様書。本館のレンガは東本願寺敷地内に置かれていた中古を使用するよう記されている。

14　青写真「真宗大谷大学建築平面図」　1枚
青写真
大正時代
新校舎は愛宕郡上賀茂村字小山（現 北区小山上総町）に建てられた。西洋風建築で、正門は南側にあり、敷地内北には寄宿舎が建てられ、学生たちはここで生活していた。

15　「真宗大谷大学建築西側図面・本館廊下通縦断面室入口側図面他」　1枚
紙本ペン書
大正時代　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
西側から見た構内図および本館右翼・廊下の断面図。構内は南側から北側へ本館、図書館および書庫、寄宿舎、食堂の順で並んでいた。

16　写真「赤レンガ本館上棟式」　1枚
モノクロ写真
大正2年（1913）　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
大正２年６月３日に撮影された本館上棟式の写真。

17　青写真「本館図面」　1枚
青写真
大正時代
明治45年（1912）6月に起工。当初は左右対象に両翼部を持つ形状であったが、昭和57年（1982）に改築、尋源館と名づけられた。平成12年（2000）に国の登録有形文化財に指定。

18　青写真「本館屋上塔二十分之一図」　1枚
青写真
大正時代
本館を象徴する中央の塔は、設計当初は図面に見られず、のちに設計変更で追加された。同じ灯火のもと、ともに研鑽を積むという意味をこめたランタンを模しているという説もある。

19　「本館断面図」　1枚
紙本ペン書
大正時代　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
本館の断面図。設計当初はなかった塔部分を鉛筆で加筆している。

20-1 青写真「本館玄関等詳細図」
-2 青写真「本館玄関図」　2枚
青写真
大正時代
20-1は本館玄関の図面。当初の設計は玄関上の校章はないが、意匠を凝らしたものであった。のち変更され現在のような外観となった。20-2は車寄せの天井が装飾性を抑えたものになったことがわかる図面。

21　写真「講堂工事」　1葉
モノクロ写真
大正2年（1913）　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
講堂工事中の写真。

22　青写真「真宗大谷大学講堂之図」　1枚
青写真
大正時代
木造の平屋造りで様式は本館に準じ、和洋折衷のデザインであった。外部はセメント・漆喰塗の石目形、内部にはお内仏が安置されていた。

23　写真「閲覧室工事」　1葉
モノクロ写真
大正2年（1913）　　真宗総合研究所大谷大学史資料室蔵
閲覧室工事中の写真。

24　青写真「貴賓室閲覧室閲覧事務室図面」　1枚
青写真
大正時代
図書館は校内中央に位置し、書庫・事務室・閲覧室・付属室の４棟からなっていた。閲覧室は木造の２階建で、１階が学生閲覧室、２階が教員閲覧室と貴賓室であった。至誠館が建てられたあと、１階は食堂として使用された。

25　青写真「真宗大谷大学所属尋源橋之図」　1枚
青写真
大正時代
京都に移転開校した頃の正門は南側にあった。当時、鞍馬口より北は広大な農地で、今の紫明通に沿って疏水が流れており、鞍馬口から校門まで専用道路が作られ、尋源橋が架けられていた。